

全国味噌工業協同組合連合会

(Japan Federation of Miso Manufacturers Cooperatives)



団体の概要

概要及び設立時期

全国味噌工業協同組合連合会は、中小企業等協同組合法に基づき、昭和35年に設立。

目的

会員及びその組合員の相互扶助の精神に基づき、必要な共同事業を行い、もって自主的な経済活動を促進し、かつ、その経済的地位の向上等を図るため、

- ① 原材料の共同購買並びに斡旋に関する事業
- ② 味噌の共同宣伝及び市場開拓、事業に関する調査研究
- ③ 経営及び技術の改善向上、知識の普及を図るための教育及び情報の提供等を実施する。

代表者

会長 満田盛護

会員

各都道府県 味噌業を営む事業者で組織された45協同組合と1 協同組合連合会の**全46会員**※。会員傘下には、約780社が所属。

※令和5年11月30日時点

主な取組

輸出ターゲット国・地域の市場・規制調査

- ・ 米国、フランス、英国、UAE、ブラジルにおける市場概況、流通状況、消費動向など、日本産と他国産を差別化するための流通実態を調査

海外におけるジャパブランドの確立に向けた取組 海外における販路開拓活動

- ・ フランス語やイタリア語による販促資材の作成
- ・ イタリア・バチカン両大使館等での試食会等のPRイベントの実施
- ・ 傘下の事業者を取りまとめて、SIAL Paris（フランス・ヨーロッパ最大級の食品見本市）に出展



日本産の独自性、特徴をPRする動画の作成、SNS等での発信



大使館での試食会の様子（令和4年10月）



SIAL Paris（フランス・パリ）に出展した時の様子（令和4年10月）

（全国味噌工業協同組合連合会からの聞き取り等を基に農林水産省が作成）